

### 1 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

事業所番号	2171900067		
法人名	有限会社 東海ケア		
事業所名	グリーンホーム かさはら		
所在地	岐阜県多治見市笠原町4406-1		
自己評価作成日	令和3年9月1日	評価結果市町村受理日	令和3年12月9日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="https://www.kai.gokensaku.nhl.w.go.jp/21/i/index.php?act=on_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;i_gyosvoCd=2171900067-00&amp;SerViceCd=320&amp;Type=search">https://www.kai.gokensaku.nhl.w.go.jp/21/i/index.php?act=on_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;i_gyosvoCd=2171900067-00&amp;SerViceCd=320&amp;Type=search</a>
----------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

評価機関名	特定非営利活動法人 旅人とたいようの会
所在地	岐阜県大垣市橋町1丁目3番地
訪問調査日	令和3年10月22日

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

<p>利用者様が安全で安心して暮らせる事、そしてその人らしく残存機能を上手に見つけ出し使える様に する。</p>
--------------------------------------------------------------

**【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】**

<p>利用者を家族の一員として受け入れ、叱らず制止せず今できることを行ってもらうことを大切にしている。特に言葉使いに注意している。管理者は、働きやすい環境作りをし、職員の話を聞き丁寧に指導している。職員は長年勤務者が多く寄り添う介護を心がけている。利用者とお互いにいたわりあうような信頼関係を築いている。みんなで体操やカラオケを楽しむ場所やソファやベットを置いて何時でもゆっくりできる場所を作り、安全で安心な生活を送れるようにしている。契約時に看取りはしないことを伝えているが、身寄りのない方や遠方の人に限り医師や訪問看護の協力を得ながら、看取りを行っている。徐々に該当者があり今後看取りについて検討する予定である。</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	安全安心でその人の今出来る事を行って頂き、元気に過ごして頂く様、朝夕のミーティング冒頭に必ず理念の唱和をし、職員が共有し理解し実践につなげている。	「利用者の尊厳を維持し個人を尊重する」や、「安全で安心な生活を送れるようにする」などの理念を朝夕唱和して話し合い、確認して実践につなげている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	区の一員として回覧板を回したり、地域の方からいらなくなったリハパン、オムツ、衣類、ダンス等を届けて下さったりしている。現在はコロナ禍のため交流は出来ない。	様々なボランティアや子供たちの訪問があったり、カフェを開いたりして交流していたが、コロナ禍で出来なくなっている。地域の人々から野菜や衣類・筆筒などの寄贈があり、お礼の手紙を送っている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症カフェ等で認知症について質問、相談等で話し合える場を作りかけていたが、コロナ禍で開催できていない。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナで推進会議も行えない為、ホーム内で行ったことを文章で行政、家族などに送り、意見を頂く様にしているが、その場でない為か意見は頂けていない。	コロナ禍で外部の人の参加が難しくなったため、事業所内部の参加者のみで行っている。議事録を関係者や家族に送り、意見を聞いている。地域の情報が寄せられることもある。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	推進会議などに出席いただき、意見等を頂いておりましたが、現在コロナの為中止しており、必要な時には電話で連絡をする様にしている。	電話やメールでのやり取りが多くなった。書類提出や介護認定など不慣れな家族に代わって手続きに出向くこともある。利用者の健診ができず、車椅子でも検査を受けられるレントゲン車を派遣してもらった。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束委員を設けて定期的に話し合い、全職員と共有して取り組んでいる。	ミーティング後に身体拘束廃止委員会を設けている。家族の同意を得て行っているベットの4点柵使用について話し合いをしている。身体拘束に関する指針や職員の研修会記録が確認できなかった。	指針を明確にすると共に研修会の研修記録を残しておく事を望む。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修会で学ぶ機会を作り、職員全員で注意をし、チェックをし、見過ごす事のない様防止に努めている。		

グリーンホームかさほら

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度についてシンポジウムに参加したり、入居者さんの中にも制度を使っていた方があり、支援出来るようにしている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の説明は行っている。分からない事、疑問等はいつでも受け入れられる様説明している。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族からは電話、メール等で意見や要望を聞き、出来る限り要望に応えられる様努めている。	毎月の手紙に写真を同封して出来る限り様子がわかるよう努めている。家族からは頻りに電話やメールがあり、その都度意見を聞いている。面会希望や結婚式の出席は可能ななどの質問があり対応方法を一緒に考えている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	常に現場、近くにいる為、その場その場で互いに意見交換出来るようにしている。ミーティングで話し合っている。	職員より休みの取得や備品に対する要望、ケアの方法等の意見が出されている。仕事に自信を失った職員には、ゆっくり話を聞き丁寧に指導し対応している。働きやすい環境作りをしているため、永年勤務者が多い。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	8月より職員の体調、家族の事情にて休みを長期に取っている人があり、残りの職員でシフトを作っている為、今までの休みが思う様に取れない中、何とか職員の希望を取り入れる様努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	コロナ禍の中なので、外の研修を受ける機会が少ないが、ホーム内に講師に来て頂きスキルアップ研修を受けている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	交流会はあったが、今はコロナ禍の為出来ていない。		

グリーンホームかさほら

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	日常会話の中からその人の不安、要望等を聞き取り、安心して頂ける様に心掛けている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族がどの様に困っているのか、今後どうしたいのか、要望等あればいつでも話して頂ける様、訪問、電話、メール、ライン等で行える様にしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	その都度話し合いの時を作り対応している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	介護される立場でも共同生活の中で職員が助けられる場面も有り、笑いもあり、怒りもありで仲良く過ごす関係が出来ている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	今はコロナで行えていない事もあるが、家族との外出、外泊、行事等いつでも出来る様にしている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	交流のある方はその方達に来て頂いたり、一緒に出掛けたり(家族の許可を頂いて)する支援を行っている。現在はコロナ禍の為出来ていない。	友達の訪問があったり、馴染みの喫茶店や美容院に出かけたりしていたがコロナ禍で難しくなった。年賀状の代筆や電話の取り次ぎなど行っている。孫が経営している店に食べに行きたい希望がありコロナが収束したら外出する予定である。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	孤立しない様に皆さんに話題を提供し、会話が出来る様に努めている。相性などを考え席決めをしたり、利用者が嫌な思いをしない様に対応している。		

グリーンホームかさほら

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	なかなか取組みは困難だが、電話等で相談があれば相談や支援に努めている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	家族や今までのケアマネからの聞き取り、その方の希望、意向の把握に努めている。	入浴時や居室滞在時等いろいろな場面で一対一になった時に聞いている。ゆっくり話をしたい、ラーメンが食べたい等の希望が寄せられた。話さない人も表情を見て把握し、得た情報は記録して全職員で共有している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	始めに家族から聞き取りをするが、本人からも雑談の中から聞き取ったりし、デイサービスに行ってみえる方はデイサービスの職員さんから聞き取り等に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	体調に合わせて、体操等休んだり参加されたり、その人に合わせる様努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	担当者が、日々の生活の変化等の記録し、それに基づき家族、ケアマネ、担当者で話し合い、本人家族の意向に反映させている。	家族に電話で意向を聞き、医師・看護師の意見も聞いて、日報や担当職員の気付きを基に介護計画を作成している。半年ごとの見直しを行っているとのことであったが、空白期間もあり徹底されていない。	状態の変化時だけではなく、定期的な見直しをし、全職員に介護計画を徹底し、より良いケアにつなげることを期待する。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の日報に記録し、朝夕の申し送りにて職員間で情報を共有し話し合い意見交換をしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	病院受診、銀行等の付き添い、又必要となれば主治医と相談の上訪問看護にも入って頂ける様支援に取り組んでいる。		

グリーンホームかさほら

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	公民館、図書館等利用し支援していたが、今はコロナ禍で支援出来ていない。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	主治医は月2回訪問されるが、その他の時でも電話の指示であったり、連れて行ったり、往診に来て下さったり、適切な医療は受けられている。	本人・家族の意向でかかりつけ医を決めている。受診は家族同行が基本であるが、緊急時は職員が対応している。受診時に状態のメモを渡し、受診後は結果を確認している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	職員は日々、個々の体調の変化にいち早く気づき、情報を共有し、主治医と連絡を取り、対処、受診をしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	各病院の相談員の方との情報交換や相談には努めている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に延命治療をするかしないか等の説明をし、家族から返事を頂く。終末期の話し合いは利用者様の状態に応じて、主治医からの説明も有り、方針を共有し、支援に取り組んでいる。	契約時に重度化時や終末期の意向を聞き、看取りはしないことを伝えている。状態に応じて話し合いをし方針を共有している。身寄りのない方や遠方の人に限り医師や訪問看護の協力を得ながら、看取りを行っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救急救命講習は定期的受講している。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害については訓練を行っている。地域との協力体制は運営推進会議に出席して頂いている区の役員さん達と「支援・協力依頼協定書」をお願いしている。	年2回の避難訓練と救命救急の訓練を行っている。滑り台や布団を使い降りる訓練を行った。水・食糧の備蓄をしている。近隣への呼びかけ、参加はなく、地域との協力体制は希薄である。	災害時は事業所だけの対応では難しくなる。地域との協力体制を築くことを期待する。

グリーンホームかさほら

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個人の性格に合わせて声掛けをしている。特にトイレ誘導、入浴の言葉掛けは注意している。	入浴時や排泄時に遠くから呼んだり、大きな声で話しかけたり、言葉がきつくなったりしないよう注意している。オムツやポータブルトイレは布をかけて外からはわからないようにしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中で、体操、レクリエーションの参加等は本人の希望に応じている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々の体調により、ペースに合わせ、横になったりテレビを観たり、居眠りをしたりして過ごしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	自分で何度も衣装を変えられる方も有り、髪を染めて欲しいと言われる方も有り、出来る事は支援している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	季節の旬の物や好みの献立に努め、利用者が出来る事をして頂く様に努めている。	利用者の好みや希望を取り入れ、旬の食材や彩りを考えて献立・調理している。利用者は、テーブルや茶わん拭きなど出来ることをしている。誕生会の料理やおせち料理、広い玄関先でのお茶会などで楽しむ工夫をしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの状態に対し食べる量、食べ易い摂取方法で支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	自分で歯磨きが出来方以外は、声掛けや介助にてその人にあつたケアを行っている。		

グリーンホームかさほら

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人ひとりのパターンにより、時間を見て声掛け誘導している。リハビリパンツの方を布パンツにする様支援し現在出来ている方もある。	排泄パターンを把握し、声掛けや誘導をしている。少しでも動ける人は日中2人介助でトイレでの排泄を支援している。紙パンツから布パンツとパットのみに変更できた人もいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食物繊維や水分を意識して摂取してもらうが、便秘薬を服用される方もいる。個々に応じた対応をしている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	一人ひとりの希望に応じて、タイミングも合わせて強制することなく、リラックス効果温泉気分の入浴剤を使用し楽しんで頂く。	入浴順・湯温・タイミングは一人ひとりの希望に合わせている。入浴剤を使って温泉気分を味わったり、ゆったり湯につかったり身の上話をしたりするなど楽しんで入浴できる支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	気持ちよく眠って頂ける様、部屋の温度、寝具、照明等に気を付け、気持ちよく眠れるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬については理解し誤薬のない様2名で確認し、又薬による変化がある時は主治医に相談している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の好きな事(折鶴、塗り絵、ひも結び、縫い物等)をしたり、誕生日に外出できる方は外出し、出来ない方はケーキで祝ったり、又ドライブに行ったり、気分転換の支援をして来たが、今はコロナの為この様な外出の支援は出来ていない。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	通常であれば季節の花を見に行ったり、空気の良い場所や町の中をドライブしたりしていたが、今はコロナの為外出できていません。	天気の良い日には、広い玄関先に椅子を並べ日向ぼっこや自然の空気に触れ気分転換を図っている。コロナ禍以前は、弁当を持って花見やドライブに出かけていた。現在は広場があるところにまでドライブし、散歩をすることもある。	



グリーンホームかさほら

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人がお金の管理の出来る方は自分で所持している方もあり、事務所で管理していて本人の希望に応じて使える様にしている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の希望があればいつでも電話出来るようにしている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間、台所、食堂がひとつのホールになっているので、台所での調理中の匂いなど有り、生活感がある。レクで塗った塗り絵、作品等掲示して季節感を工夫している。	利用者と一緒に掃除や消毒を行い換気などにも気を配っている。居間や玄関・廊下には、みんなで一緒に作った貼り絵や塗り絵など季節感がある作品を飾っている。ソファやベットを置いて何時でもゆっくりできるようにしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共同空間の中で独りになれる場所はないが、ソファ、テーブル、廊下の長椅子、自室と移動することで思い思いに過ごせている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた物や大切にしている物、思い出の写真等置いて居心地よく過ごしてみえる方、仏壇を置いて毎日供養をされている方もみえる。	使い慣れた机・椅子・ハンガーラックを持ち込んでいる。仏壇や遺影を置き毎日手を合わせる人もいる。部屋にこもらないよう居室にはテレビを置かないことを依頼している。清掃と安全に気を配り、居心地よく過ごせるようにしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人ひとりの「出来る事分かる事」を理解して個々に安全な自立を支援している。床のモップ掛け、手すりの消毒、テーブル拭き、洗濯物を畳む、布巾雑巾を縫う等々。ポータブルトイレ等は自立した生活を送れるようにしているものと思っている。		

### 1 自己評価及び外部評価結果

#### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2171900067		
法人名	有限会社 東海ケア		
事業所名	グリーンホーム かさはら		
所在地	岐阜県多治見市笠原町4406-1		
自己評価作成日	令和3年9月1日	評価結果市町村受理日	令和3年12月9日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="https://www.kai.gokensaku.nhl.w.go.jp/21/index.php?act=on_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;i_gyosvoOd=2171900067-00&amp;SerVi.ceOd=320&amp;Type=search">https://www.kai.gokensaku.nhl.w.go.jp/21/index.php?act=on_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;i_gyosvoOd=2171900067-00&amp;SerVi.ceOd=320&amp;Type=search</a>
----------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

#### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 旅人とたいようの会		
所在地	岐阜県大垣市橋町1丁目3番地		
訪問調査日	令和3年10月22日		

#### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

--

#### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--

#### V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	安全安心でその人の今出来る事を行って頂き、元気に過ごして頂く様、朝夕のミーティング冒頭に必ず理念の唱和をし、職員が共有し理解し実践につなげている。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	区の一員として回覧板を回したり、地域の方からいらなくなったリハパン、オムツ、衣類、ダンス等を届けて下さったりしている。現在はコロナ禍のため交流は出来ない。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症カフェ等で認知症について質問、相談等で話し合える場を作りかけていたが、コロナ禍で開催できていない。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナで推進会議も行えない為、ホーム内で行ったことを文章で行政、家族などに送り、意見を頂く様にしているが、その場でない為か意見は頂けていない。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	推進会議などに出席いただき、意見等を頂いておりましたが、現在コロナの為中止しており、必要な時には電話で連絡をする様にしている。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束委員を設けて定期的に話し合い、全職員と共有して取り組んでいる。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修会で学ぶ機会を作り、職員全員で注意をし、チェックをし、見過ごす事のない様防止に努めている。		

グリーンホームかさほら

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度についてシンポジウムに参加したり、入居者さんの中にも制度を使っていた方があり、支援出来るようにしている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の説明は行っている。分からない事、疑問等はいつでも受け入れられる様説明している。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族からは電話、メール等で意見や要望を聞き、出来る限り要望に応えられる様努めている。		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者はⅠ、Ⅱを2か月交代で食事を職員や利用者さんたちと一緒に摂っている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	8月より職員の体調、家族の事情にて休みを長期に取っている人があり、残りの職員でシフトを作っている為、今までの休みが思う様に取れない中、何とか職員の希望を取り入れる様努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	個人的に国家試験に向けて研修を受ける人には会社としての支援を行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	交流会はあったが、今はコロナ禍の為出来ていない。		

グリーンホームかさほら

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	日常会話の中からその人の不安、要望等を聞き取り、安心して頂ける様に心掛けている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族がどの様に困っているのか、今後どうしたいのか、要望等あればいつでも話して頂ける様、訪問、電話、メール、ライン等で行える様にしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	その都度話し合いの時を作り対応している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	介護される立場でも共同生活の中で職員が助けられる場面も有り、笑いもあり、怒りもありで仲良く過ごす関係が出来ている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族からのメールや電話があり、又ホーム側からメールや電話をする事も多くある。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	交流のある方はその方達に来て頂いたり、一緒に出掛けたり(家族の許可を頂いて)する支援を行っている。現在はコロナ禍の為出来ていない。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者さんが仕事が欲しいと言われる為、職員はその人に出来る事を探し出し行って頂くが、手早い為仕事を作り出す事が大変だが支援に努めている。		

グリーンホームかさほら

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	なかなか取組みは困難だが、電話等で相談があれば相談や支援に努めている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	雑談や部屋に行かれた時など、本人から聞き取るよう努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	始めに家族から聞き取りをするが、本人からも雑談の中から聞き取ったりし、デイサービスに行ってみえる方はデイサービスの職員さんから聞き取り等に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	体調に合わせて、体操等休んだり参加されたり、その人に合わせる様努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	担当者が、日々の生活の変化等の記録し、それに基づき家族、ケアマネ、担当で話し合い、本人家族の意向に反映させている。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の日報に記録し、朝夕の申し送りにて職員間で情報を共有し話し合い意見交換をしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	病院受診、銀行等の付き添い、又必要となれば主治医と相談の上訪問看護にも入って頂ける様支援に取り組んでいる。		

グリーンホームかさほら

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	公民館、図書館等利用し支援していたが、今はコロナ禍で支援出来ていない。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	主治医は月2回訪問されるが、その他の時でも電話の指示であったり、連れて行ったり、往診に来て下さったり、適切な医療は受けられている。		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	職員は日々、個々の体調の変化にいち早く気づき、情報を共有し、主治医と連絡を取り、対処、受診をしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	各病院の相談員の方との情報交換や相談には努めている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に延命治療をするかしないか等の説明をし、家族から返事を頂く。終末期の話し合いは利用者様の状態に応じて、主治医からの説明も有り、方針を共有し、支援に取り組んでいる。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救急救命講習は定期的受講している。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害については訓練を行っている。地域との協力体制は運営推進会議に出席して頂いている区の役員さん達と「支援・協力依頼協定書」をお願いしている。		

グリーンホームかさほら

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入浴は忘れてしまわれるが前もって「本日入浴あります」と言葉を掛けておく等対応している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入浴もその日によって入りたくない方を無理に入れる事はしないで、自己決定できる様努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	現在の方は仕事の欲しい方が多く、何か仕事を作り出し希望に沿うよう努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	男性が多い為髪を切ってほしいと言われ、職員がカットをしている(現在コロナで理容師が入れない為)		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	季節の旬の物や好みの献立に努め、利用者が出来る事をして頂く様に努めている。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	お茶を飲まない方が2~3人みえ、その方の水分摂取が困難だが、飲物を色々代えたりして摂取できるよう努めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	自分で歯磨きができる方以外は、声掛けや介助にてその人にあつたケアを行っている。		



グリーンホームかさほら

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	部屋にポータブルトイレを置いて自己で行ってみえる(音を拾って介助に行く)方等の支援は行っている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食物繊維や水分を意識して摂取してもらうが、便秘薬を服用される方もいる。個々に応じた対応をしている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	基本的にはローテーションを組み入浴日を決めているが、体調に合わせて柔軟に入浴日を変更している。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	気持ちよく眠って頂ける様、部屋の温度、寝具、照明等に気を付け、気持ちよく眠れるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬については理解し誤薬のない様2名で確認し、又薬による変化がある時は主治医に相談している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の好きな事(折鶴、塗り絵、ひも結び、縫い物等)をしたり、誕生日に外出できる方は外出し、出来ない方はケーキで祝ったり、又ドライブに行ったり、気分転換の支援をして来たが、今はコロナの為この様な外出の支援は出来ていない。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	通常であれば季節の花を見に行ったり、空気の良い場所や町の中をドライブしたりしていたが、今はコロナの為外出できていません。		

グリーンホームかさほら

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人がお金の管理の出来る方は自分で所持している方もあり、事務所で管理している本人の希望に応じて使える様にしている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の希望があればいつでも電話出来るようにしている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	自らカーテンを開閉して調節される方もあり、自分が涼しいと思われる方は羽織る物を持って来るよう職員に伝えたり、職員が気を付けて持って来たりして心地よく過ごせるようにしている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	自室に仏壇を持っている方は仏壇の水をかえたり掃除をしたりして思い思いに過ごされている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた物や大切にしている物、思い出の写真等置いて居心地よく過ごしてみえる方、仏壇を置いて毎日供養をされている方もみえる。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人ひとりの「出来る事分かる事」を理解して個々に安全な自立を支援している。床のモップ掛け、手すりの消毒、テーブル拭き、洗濯物を畳む、布巾雑巾を縫う等々。ポータブルトイレ等は自立した生活を送れるようにしているものと思っている。		